

科目名	開発経済学特論：「グローバル化、食、健康、そして貧困を再考する」	担当教員	中西徹
科目属性	専門科目群 F	単位数	2 単位(面接 0.5 単位)
<p><b>【授業概要】</b></p> <p>第二次大戦後、発展途上国の開発をめぐる諸問題は大きな変動を遂げてきた。たしかに、21 世紀以降、「グローバル化」が深化する一方で、一見すると ODA や国際援助機関が主導する貧困削減政策は、MDGs（ミレニアム開発目標）から SDGs（持続可能な開発目標）に至る流れの中で、大きな成果を挙げてきたように思われる。しかし、他方において、多くの研究者が指摘するように、国内においても、国際間においても、分配（distribution）の悪化が顕著となっている。21 世紀の半ばには、人工知能と遺伝子工学、そしてビッグ・データ分析の発達によって、情報や富がごく少数の「超富裕層」に集積され、彼らとその他の「無用者階層」の間には、19 世紀末から 20 世紀初頭の時期を超える深刻な不平等世界が実現し得るといふ観察が新しい。コロナ禍終息後、このような状況はどのように変化し、我々はどのような対応を迫られるのであろうか。</p> <p>本講義では、発展途上国を取り巻く「グローバル化」が有する意味を再考しつつ、「食と健康」と「農業開発」という 2 つの事例を中心に、「開発」問題を捉えなおすことによって、この問題を検討したい。その際、地域研究におけるフィールドワークの事例として、35 年以上にわたって実施してきたスラム住み込み調査における私個人の経験について、併せて言及する。</p>			
<p><b>【授業の到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦後の発展途上国の「開発」の流れを理解する</li> <li>2. 正統派経済学の基本的な考え方を理解する</li> <li>3. 開発問題への多面的な視角を得る</li> <li>4. 「新しい貧困問題」とその背景について考える</li> <li>5. 農業開発についての新しい視角を得る</li> <li>6. 対象社会と自分の関係をみつめなおす</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b> Zoom（コロナ禍が終息すれば対面も）でフィリピンのスラムと農村を訪れる予定です。</p> <p>序論 「ホモ・デウス」と「灰色の男たち」の「悪徳の栄え」</p> <p>第 I 部 理論と歴史 「悪徳の栄え」に抗する社会</p> <p>I-1. 経済学の基本論理：「人々はさまざまなインセンティブに反応する」</p> <p>I-2. 「冷戦終結」がもつ意味：戦後の開発政策の流れを理解する</p> <p>I-3. 0-Ring 理論：「大不平等」が実現する過程と論理</p> <p>I-3. 「新しい貧困」の誕生：貧困層の肥満を考える</p> <p>I-4. 「強者」の健康：有機農産物と菜食主義者</p> <p>第 II 部 応用と事例 「強者」を躲す「弱者」の戦略を求めて</p> <p>II-1. 事例 1. マニラのスラムから誕生した医師：Zoom で現地の人々から話を聞こう</p> <p>II-2. 事例 2. マニラのスラム：「私」が垣間見た 35 年間</p> <p>II-3. 事例 3. 農民① 慣行農業 vs. 有機農業</p> <p>II-4. 事例 4. 農民② コミュニティの再生と「提携」：日本の有機農業</p> <p>II-5. 事例 5. 農民③ 「民衆知」と「参加型有機認証」：フィリピンの有機農業</p> <p>II-6. 事例 6. グローバル化に抗する智恵：大陸東南アジア少数民族</p> <p>結論 デストピアを超える</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>スクーリング評価（30%）、レポート評価（20%）、「科目修得試験」（50%）</p>			
<p><b>【教科書】</b></p> <p>講義は、開発論の基本的な議論や先端のトピックを補いながら、次の 4 つの文献を発展させた内容になる（学生ポータルサイトで配布予定）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中西徹. 2008. 「深化するコミュニティ」『人間の安全保障』高橋哲哉；山影進（編）所収. 174～188 頁. 東京：東京大学出版会.</li> <li>・中西徹. 2020. 「現代経済の『錬金術』と有機農業」『東洋文化』（東京大学東洋文化研究所）100 号. 125-174 頁. 2020 年 3 月.</li> <li>・中西徹. 2022. 「未来を紡ぐ人々」『東洋文化』（東京大学東洋文化研究所）102 号. 近刊.</li> </ul>			

2022年3月.

- 中西徹編. 2022. 『現代国際社会と有機農業』より該当箇所一部  
他に重要文献として（電子書籍可）：
- ハラリ, ユバル. 2018. 『ホモ・デウス』柴田裕之(訳). 東京：河出書房新社  
(Harari, Yuval Noah. 2015. *Homo Deus*. London: Vintage) .  
とくに, 第1章と第Ⅲ部（第8章～第11章）。

【参考図書】（電子書籍可）

- スコット, ジェームズ. 2013. 『ゾミア』佐藤仁(監訳). 東京：みすず書房  
(Scott, James C. 2008. *The Art of Not Being Governed*. New Haven: Yale University Press.) .  
である。とくに, 第1章, 第6章, 終章.
- シャイデル, ウォルター. 2019. 『暴力と不平等の人類史』鬼澤忍ほか(訳). 東京：  
東洋経済新報社(原著 Scheidel, Walter. 2017. *The Great Leveler*. Princeton: Princeton  
University Press.)
- コーエン, ダニエル. 2013. 『経済と人類の1万年史から, 21世紀世界を考える』林昌宏(訳).  
東京：作品社.(原著 Cohen, Daniel. 2009. *La Prospérité du Vice: une Introduction  
(Inquiète) à l'Economie*. Paris: Albin Michel) .
- ピケティ, トマ. 2014. 『21世紀の資本』山形浩生ほか(訳). 東京：みすず書房(Piketty,  
(原著: Thomas. 2011. *Capital in the Twenty-First Century* translated by Arthur Goldhammer.  
Cambridge, MA: Harvard University Press) .
- ミラノヴィッチ, ブランコ. 2017. 『大不平等』立木勝(訳). 東京：みすず書房(原著：  
Milanovic, Branko. 2016. *Global Inequality*. Cambridge, MA: Harvard University Press) .
- Scott, James C. 1998. *Seeing Like a State*. New Haven: Yale University Press.